
コロナ禍における経済損失：国際比較

2022年8月24日

川脇颯太・仲田泰祐

まとめ

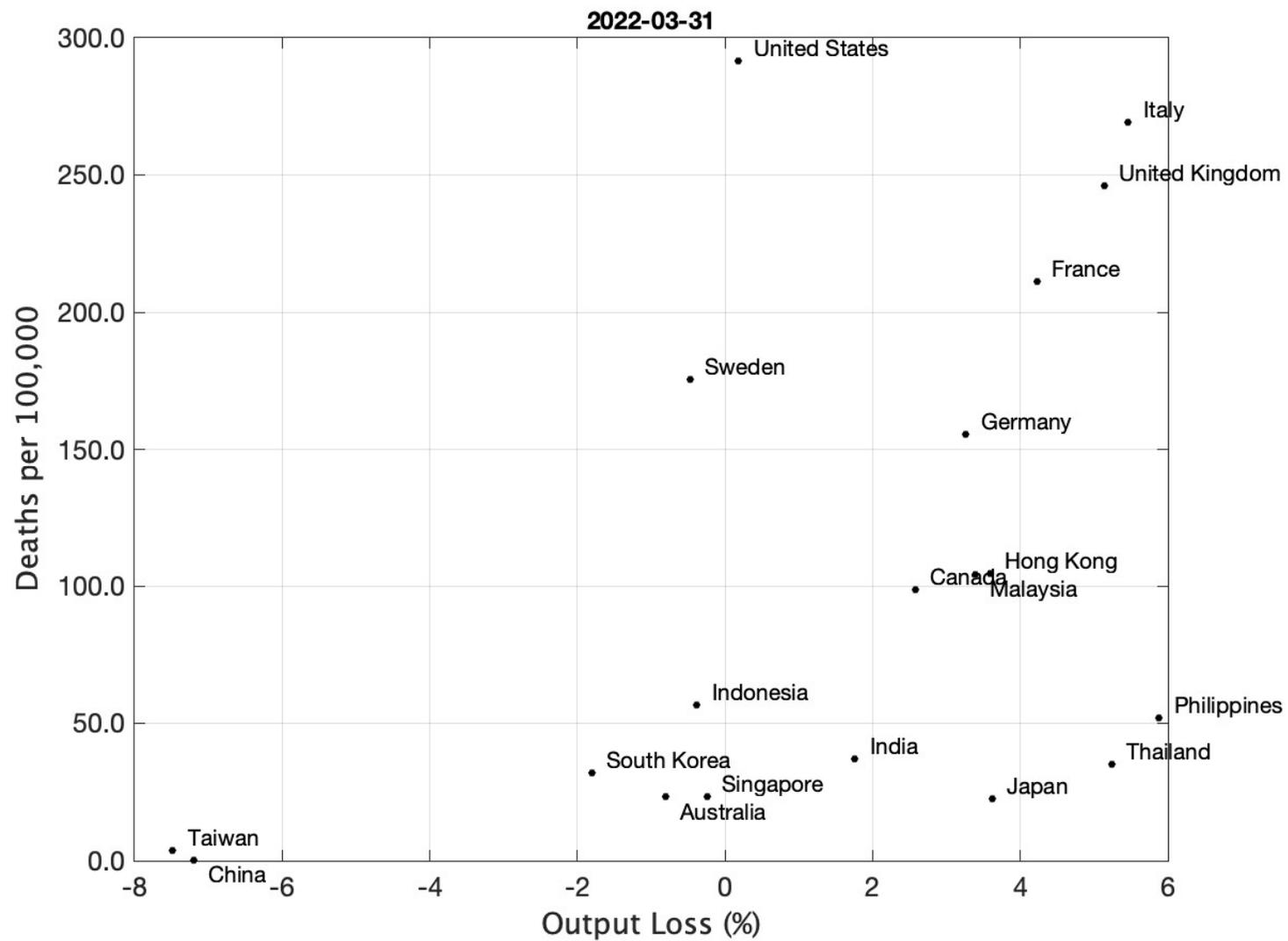
■ 分析

- コロナ禍における日本の経済活動を他G7国とアジア諸国と比較

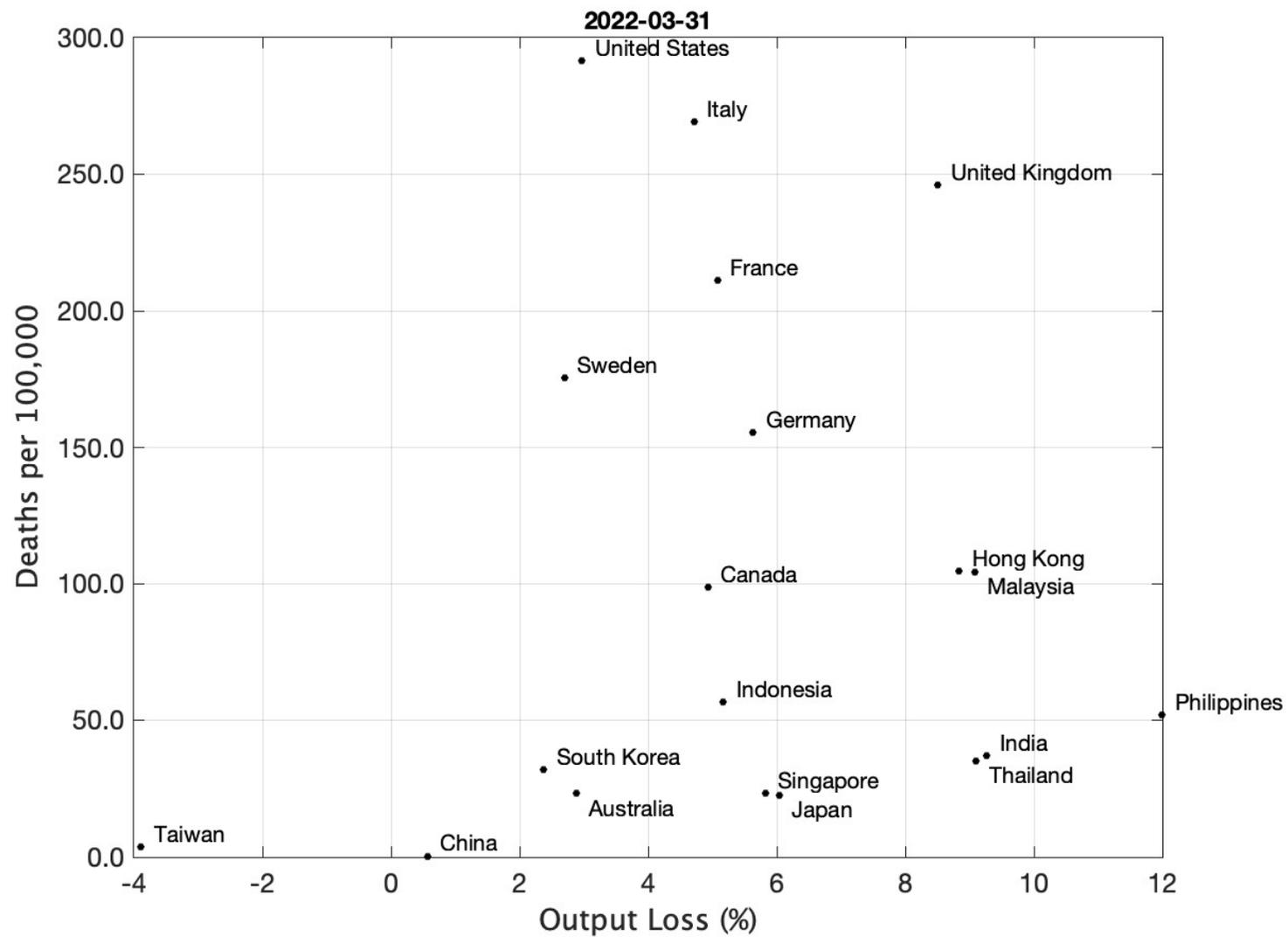
■ 重要ポイント

- 日本ではコロナ危機初期の経済の落ち込み度合いが他G7国・アジア諸国と比較して相対的に小さい傾向
- 日本の2021年以降の経済活動は他G7国・アジア諸国と比較して相対的に比較的弱い傾向
 - これは日本の潜在成長率がそもそも低いことも反映している
- 2020年・2021年の累計経済損失に関しては、日本は他G7国・アジア諸国の中では「真ん中あたり」。日本より経済ダメージが大きかった国もあれば、小さかった国もある
- 2020年・2021年の人口当たりの累計コロナ死者数に関しては日本は他G7国・アジア諸国の中では低い傾向

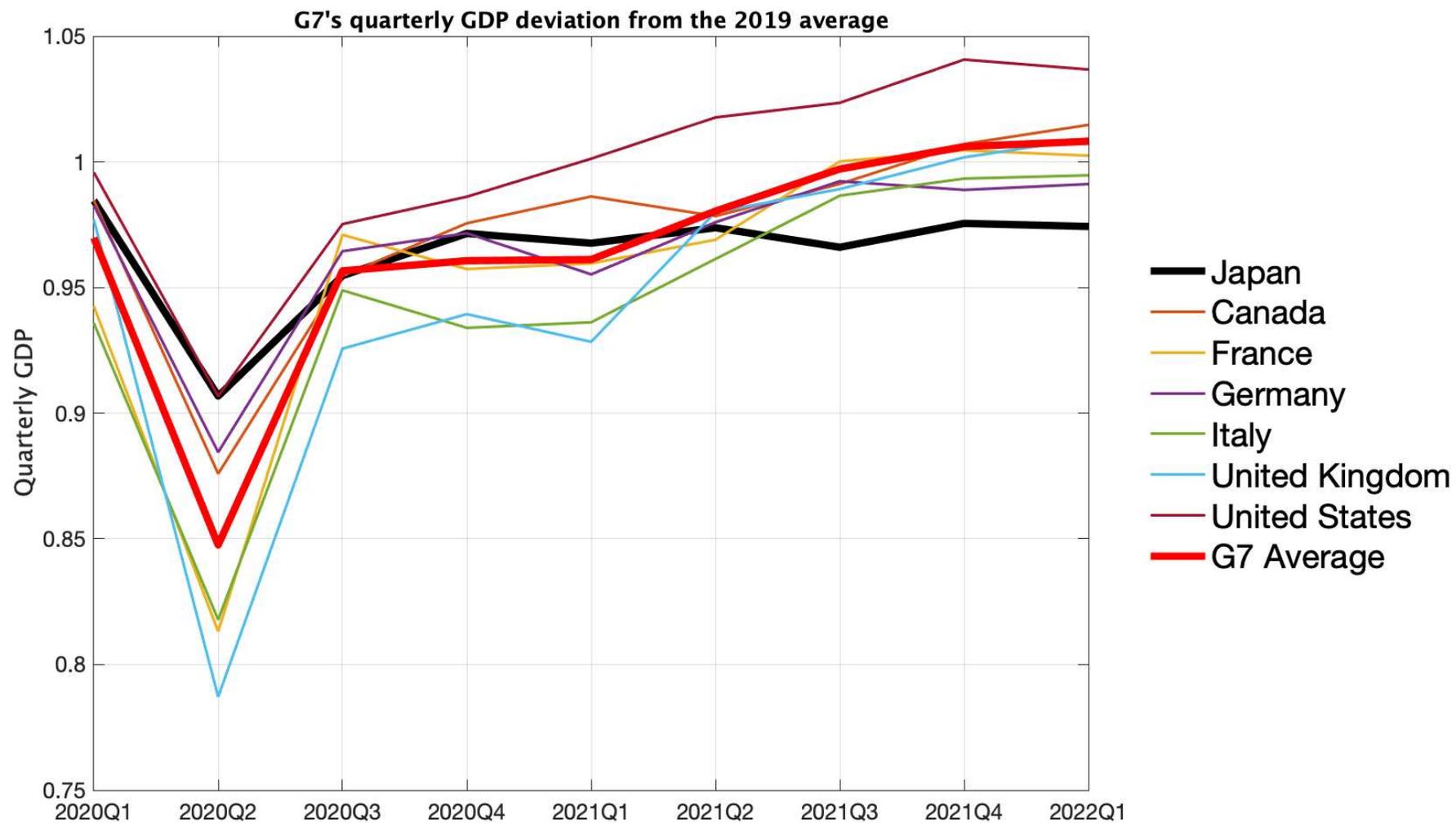
四半期GDP：2019年平均からの乖離



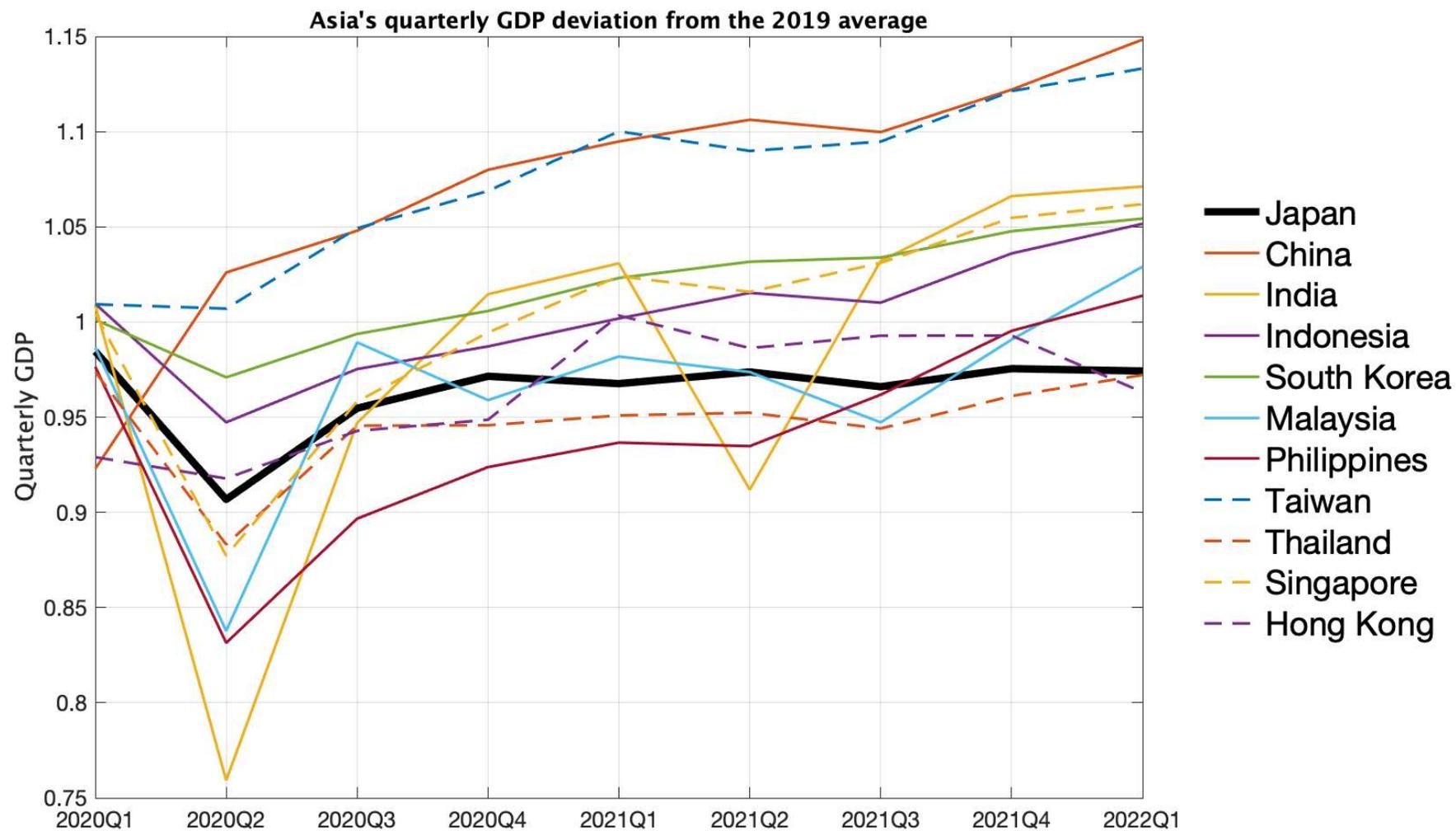
四半期GDP：過去のトレンドからの乖離



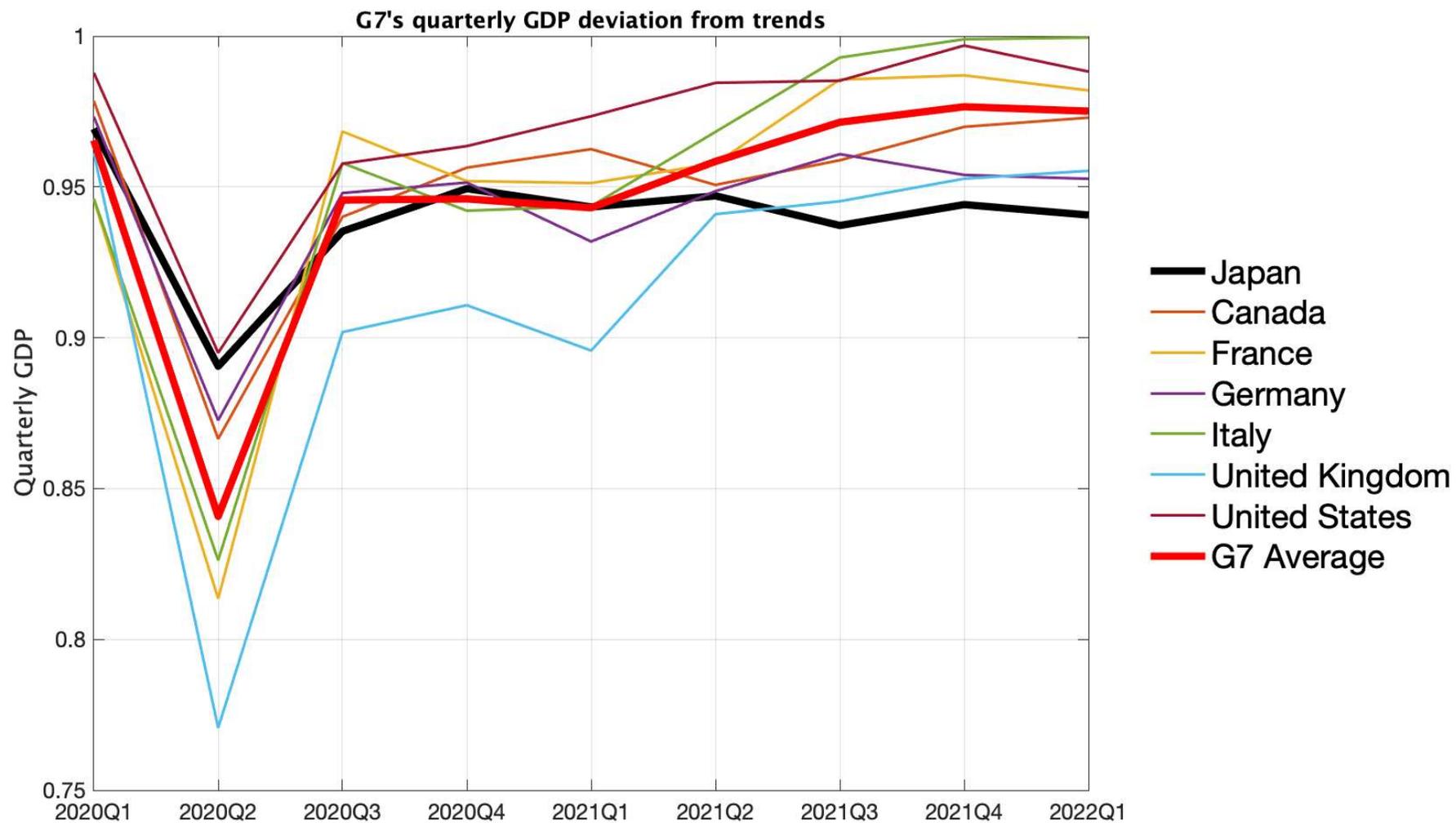
各国四半期GDPの推移(2019年の平均を1として標準化)：G7



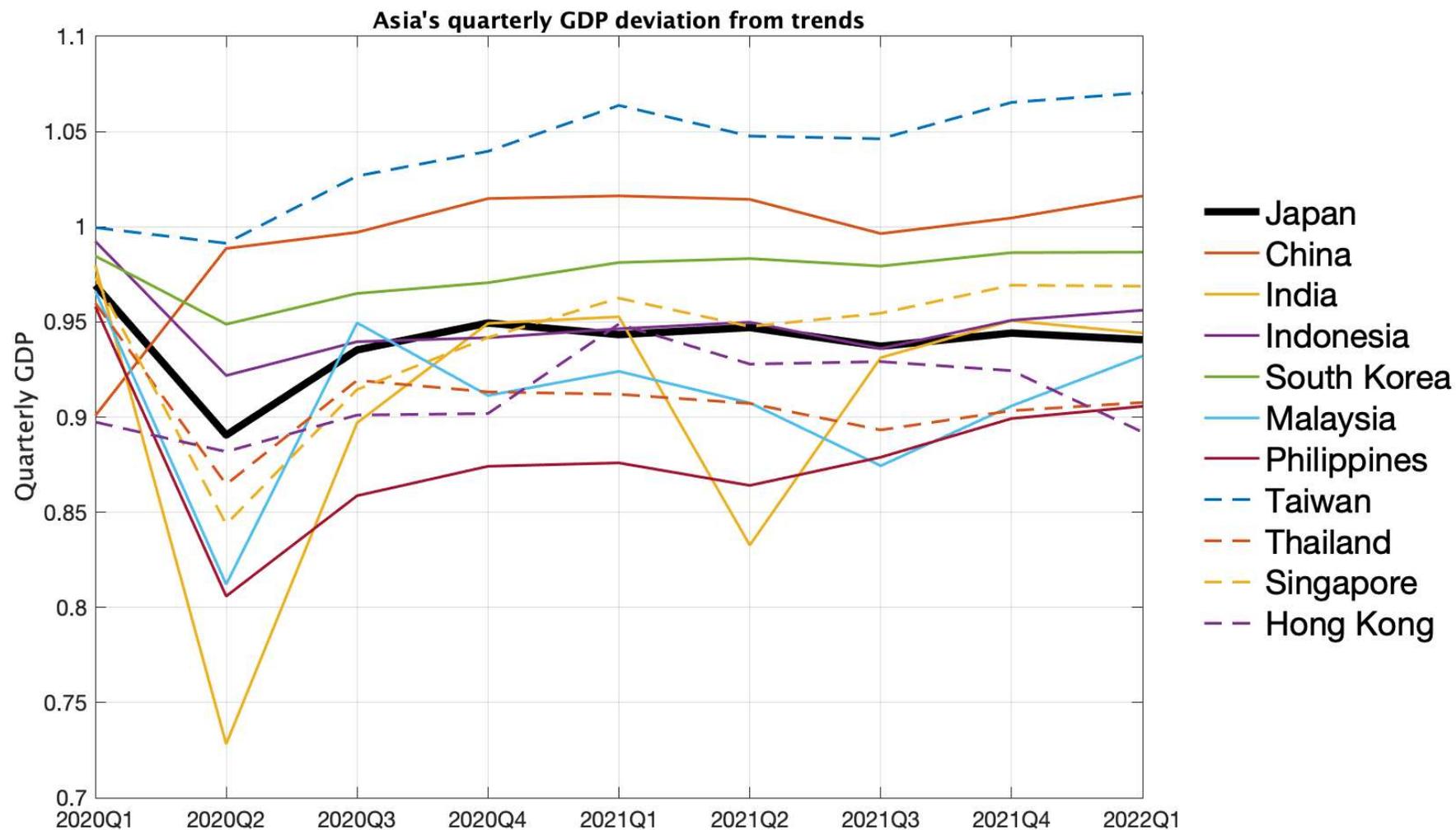
各国四半期GDPの推移(2019年の平均を1として標準化)：アジア



各国四半期GDPの推移(トレンドからの乖離)：G7



各国四半期GDPの推移(トレンドからの乖離)：アジア



分析の詳細

- 掲載国：日本及びG7の各国、スウェーデン、オーストラリア、アジア諸国
 - 四半期GDP：日本、米国、英国、ドイツ、カナダ、フランス、イタリア、スウェーデン、オーストラリア、韓国、インド、中国、インドネシア、シンガポール、香港、マレーシア、タイ、フィリピン
- 先進各国のGDPの推移を比較するため、またアジア諸国と日本のGDP推移を比較するため
- トレンドの作成方法
 - 四半期GDP：Global Economic Monitor, The World Bank
 - トレンドラインは、上記データをもとに2011年から2019年の36期間から線形回帰で得た。
 - コロナ死者数：
 - <https://covid.ourworldindata.org/data/owid-covid-data.csv> 内のtotal_deaths_per_millionを利用しております。その出典は次です。
 - "Dong E, Du H, Gardner L. An interactive web-based dashboard to track COVID-19 in real time. Lancet Inf Dis. 20(5):533-534. doi: 10.1016/S1473-3099(20)30120-1"
- トレンドの作成方法
 - 四半期GDP：2011年から2019年までの9年間(36期間)の値から、時刻と四半期GDPの線形回帰モデルを作成し、2020年以降の四半期GDPとの乖離を計算している。